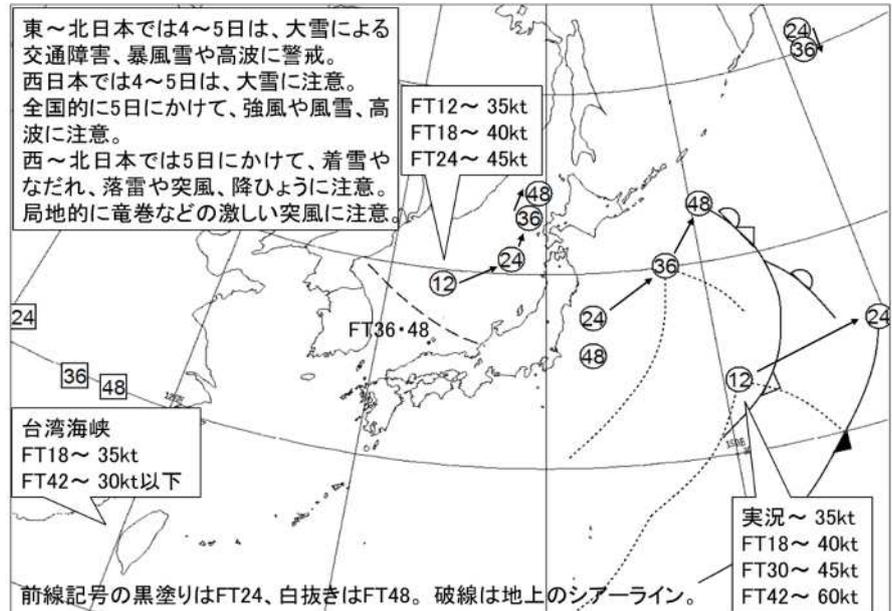


1. 実況上の着目点

- ① 日本海に低気圧があつて、発達しながら東北東進。
- ② 500hPa5100m付近に-42℃以下の寒気を伴う寒冷渦があつて、ゆっくり南下。
- ③ 日本の東に低気圧があつて、東北東進。
- ④ ①の低気圧と大陸の高気圧との間、また③の低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、全国的にやや強い風が吹き、全国的に波が高くしけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、1項②の寒冷渦を回る500hPa5220m付近のトラフに対応し、3日は発達しながら日本海を東北東進する。この低気圧と大陸の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなりしけとなる所がある。全国的に3日は、強風や風雪、高波に注意。
- ② 1項②の寒冷渦は、南東進し5日には北日本へ進む。寒冷渦を回る500hPa5280m付近のトラフに対応し、3日夜までに日本の東で低気圧が発生し、発達しながら北東進、4日夜には千島近海へ進む。日本付近は4～5日は強い冬型の気圧配置となり、東～北日本には500hPa-39℃以下の強い寒気が流入する。また、日本海寒帯気団収束帯（JPCZ）が形成し、北陸地方を指向する。このため、日本海側を中心に雪雲が発達し降雪が強まり大雪となる所がある。東～北日本では4～5日は、大雪による交通障害に警戒し、着雪やなだれに注意。西日本では4～5日は、大雪や着雪、なだれに注意。
- ③ 2項②の強い冬型の気圧配置により、気圧の傾きが大きくなり、強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高くなり大しけとなる所がある。北陸地方と北日本日本海側では4～5日は、暴風雪や高波に警戒。全国的に4～5日は、強風や風雪、高波に注意。
- ④ 2項①の低気圧に向かう下層暖湿気、及び2項②のJPCZ周辺では上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となる所がある。西～北日本では5日にかけて、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 降雪量(06時からの24時間)：北海道50、北陸40、東北30、近畿・中国・九州北部20cm。

③ 波浪(明日まで)：北海道6、東北・伊豆諸島・北陸・近畿・中国・九州南部・奄美5、その他広い範囲で3～4m。④ 高潮(明日まで)：北日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雪と高波及び雷に関する全般気象情報」を5時頃に発表予定。